



一般社団法人

日本環境NPOネットワーク

2017年度 事業&決算報告について

2018年3月

一般社団法人日本環境NPOネットワーク

2017年度 事業目的

全国各地の環境活動を牽引する環境リーダーから構成される当会は、新たに海外研修20期生を迎え、会員数が73名となり、北は北海道から南は沖縄まで、全国32都道府県に会員がいる全国規模のネットワーク組織として拡大を続けている。

前年度、これまで会として念願だった法人化が実現し、一般社団法人として新たなスタートを切ることができた。また専用の事務ブースの開設や、海外研修成果報告冊子の発行、ホームページのリニューアルなど、運営の基盤整備が行われた。

2017年度はこのような基盤を足場に、今後持続可能な社会づくりに向けて当会がどのように寄与していくのか、まずはミッション・ビジョンを共有する。また、メンバーをテーマごとに区分し、それぞれが、このミッション・ビジョンの実現に向けてどのような方向性を目指すかを明らかにすることで「はじめの一步」を踏み出す。



【キャッチコピー】

ミッション・ビジョンの実現に向けた「はじめの一步」

2017年度 事業評価

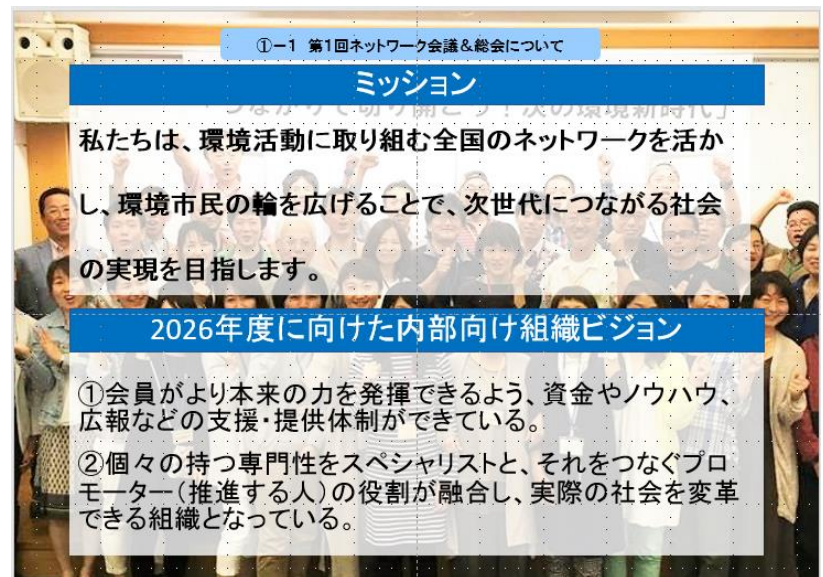
ミッション・ビジョンの実現に向けた「はじめの一歩」

私たちJens-Netの「ミッション・ビジョン」が、理事会と会員間のオンライン上でのキャッチボールを経て、最終的にネットワーク会議で検討し、総会で決定した。それをもとに、会員からの原案を募り、ネットワーク会議でデザイン化したロゴマークも12月に承認され、「ビジョン・ミッション」「ロゴマーク」と、当会の基本的な方向性を決定することができた。また新たにテーマ毎に会員が分かれ相互交流と相乗効果を促す「分科会制」が、7つのグループに分かれスタートした。活動内容についてはネットワーク会議上で検討され、その一部がサポート制度を活用し実現した。

地域活性化事業では、これまでの講師等派遣の他に、新たに外部団体からの委託があり、事業を実施することができた。

環境ネットワークづくり事業では、第1回ネットワークを北海道・東北ブロックでは初開催の宮城県で無事に実施することが出来た。また、次期会議について、これまで事務局が担っていた準備を、新たに開催ブロックの会員に担ってもらうことができ、運営機能を分散化した。

一方で、運営が一時停滞し、全体的にスケジュールが後期にずれ込み、図書販売がふるわなかった点などが反省される。



Jens-Net ミッション・ビジョン

① 2017年度の事業&決算報告

■実施事業一覧

区	事業名	実施事業	期間回数	実施内容	
事業	政策提言活動	【新規】会内にテーマ別グループの立ち上げと方向性の検討	1回 5月	正会員に、それぞれの活動と関連性の高い、または興味・関心のあるテーマを選択してもらい、7つのグループ分けを行い、ネット会議内で方向性を検討した。また相互の連絡手段として分科会内でのメーリングリストを作成した。	
	地域支援活動	【継続】活動実践者への専門情報提供(海外研修成果の冊子化)	通年	海外研修の成果をまとめた冊子の販売・管理を行った。また、今回の冊子で執筆に加わらなかった16期生以降の会員で新たに海外研修報告冊子Vol.2を編集する基本方針を理事会で検討した。	
		【継続】地域団体の人材育成等支援(研修等開催依頼対応)	4件	セブンイレブン記念財団から「助成金セミナー講師」、横浜自然観察の森友の会から「30周年記念ワークショップ講師」、地球環境基金から「アドバイザー派遣」依頼があった。また「若手プロジェクトリーダーフィールド実習」を受託した。	
		【新規】パートナーの森づくり活動への協力	2回	パートナーであるセブンイレブン記念財団がすすめる「セブンの森づくり」活動の候補地選定に、新潟県と静岡県の2地域で、下見の同行等協力した。	
	環境ネットワーク構築活動	【継続】会員からの提案による政策提言及び地域支援サポート制度	11月 &2月 2回	会員間のネットワークを強化し、会員自らの発案による自主的な活動を促進するため、本制度に応募があった、「自然保育を自治体の政策にしよう!」と「これからの自然保護・生態系ワーク会について」の2件を採用し実施した。	
		【継続】第1回Jens-Net会議・総会の開催	1回 5月	5/26-28の二泊三日で、第1回Jens-Net会議&総会を、宮城県栗駒市等で一般財団法人セブンイレブン記念財団との共催で開催し28名の参加があった。また翌2回目の会議&総会を滋賀県に決定し会場を下見・準備を行った。	
		【継続】ホームページ&ML運営	通年	ホームページやSNSの情報更新及びメーリングリストの管理を適宜行った。	
	管理運営	理事会の開催	【継続】理事会及びパートナーシップ会議の開催	3回	4/14、10/5、翌1/25と年3回、理事会とパートナーシップ会議を開催し、開催に向けた業務(日程・議題調整、資料準備、記録、議事録作成等)を行った。
		図書の販売&管理	【継続】絵地図の販売・管理 【継続】研修報告の販売・管理	通年	「藁科川散策絵図」及び、海外研修成果発信を目的とした冊子「変わるNPOが日本を変える!」の販売管理を行った。
事務会計		事務・会計	通年	会及び事業を円滑に運営するために、管理、新入会員の登録手続き、領収書の整理、帳簿記載助成金の申請・報告など事務作業と会計を管理した。	

■2017年度事業報告①

【事業】

I. 政策提言事業

新規／「テーマ別グループの立ち上げと、今後の方向性の検討」

期日：5月に1回（第1回日本環境NPOネットワーク会議）ほか、通年

結果：会員が、それぞれの活動と関連性の高い、又は興味・関心のあるテーマごとにグループを組んだ分科会を発足し、当会のミッション・ビジョンを実現するための方向性を検討した。「自然保護・生態系」「温暖化防止・エネルギー」「子ども・環境教育」「森づくり」「地域づくり」「ゴミ問題」「循環型社会形成」の7つのテーマについて、当初メーリングリストで会員にいずれかを選択してもらい、会議上での再度の説明を経て、グルーピングした。会議では、ワークショップ形式でグループごとに10個程度の活動案を検討し、発表。その結

果は、会議後メーリングリストで共有し、再度メンバーを募り、各分科会毎専用のメーリングリストを作成。最終的に46名の会員が登録した。なお、この過程で検討された活動案の2つが、サポート制度を利用し実現した。

対象：全会員（2018.4.26現在で46名登録）

担当：各世話人

- *「自然保護・生態系」川野智美氏
- *「温暖化防止・エネルギー」白川勝信氏
- *「子ども・環境教育」南結香子氏
- *「地域づくり」阪野真人氏
- *「森づくり」西健太郎氏
- *「ゴミ問題」豊田直之氏
- *「循環型社会形成」佐治真紀氏



分科会メンバー一覧

【自然保護・生態系】(6名)	【温暖化防止・エネルギー】(6名)	【子ども・環境教育】(15名)
1. 荒井一洋さん(13期/北海道) 2. 川野智美さん(14期/大分県)* 3. 立山芳輝さん(15期/鹿児島県) 4. 小倉加代子さん(18期/島根県) 5. 花城篤史さん(18期/沖縄県) 6. 小城夢奈さん(19期/山形県) 7. 出口容子さん(19期/福岡県)	1. 伊東俊和さん(1期/長野県) 2. 桃井食子さん(9期/神奈川県) 3. 宮原美智子さん(12期/熊本県) 4. 萩野由紀さん(18期/石川県) 5. 松田直子さん(19期/京都府) 6. 白川勝信さん(19期/広島県)*	1. 新田伸輝さん(1期/大阪府) 2. 菅原正徳さん(7期/宮城県) 3. 山田 勇さん(12期/長野県) 4. 立山幸代さん(14期/鹿児島県) 5. 本間莉恵さん(14期/新潟県) 6. 宮嶋啓太さん(15期/大阪府) 7. 林健児郎さん(16期/広島県) 8. 藤浦清香さん(16期/鹿児島県) 9. 高林麗果さん(17期/新潟県) 10. 藤井徳子さん(17期/富山県) 11. 南結香子さん(17期/東京都)* 12. 泉 香苗さん(18期/福岡県) 13. 藤井朋子さん(18期/新潟県) 14. 花城篤史さん(18期/沖縄県) 15. 片山翠さん(19期/兵庫県)
【地域づくり】(9名)	【森づくり】(6名)	
1. 樋口克孝さん(9期/岐阜県) 2. 平山奈央子さん(9期/滋賀県) 3. 原 淳一さん(12期/新潟県) 4. 角屋暢洋さん(14期/新潟県) 5. 園田敬子さん(15期/熊本県) 6. 大室由佳さん(16期/新潟県) 7. 藤井朋子さん(18期/新潟県) 8. 阪野真人さん(19期/福井県)* 9. 今永正文 (10期/静岡県)	1. 西健太郎さん(1期/福岡県)* 2. 田村裕美さん(14期/東京都) 3. 唐澤晋平さん(15期/愛知県) 4. 豊田菜々子さん(16期/長崎県) 5. 菊間 彰さん(16期/愛媛県) 6. 泉 香苗さん(18期/福岡県)	
【ゴミ問題】(3名)	【循環型社会形成】(3名)	
1. 矢野博己さん(10期/長崎県) 2. 橋爪慶介さん(13期/東京都) 3. 豊田直之さん(17期/神奈川県)*	1. 佐藤真里子さん(16期/福岡県) 2. 佐々木豊志さん(18期/青森県) 3. 佐治真紀さん(18期/愛知県)*	

73名の会員中46名参加
(2017.11.3現在)
※20期生には未説明
※2つのグループに参加2名

■2017年度事業報告②

【 事業 】

Ⅱ. 地域支援事業

①活動実践者への専門情報提供(海外研修成果の冊子の販売・管理)

(略称/海外研修成果発信プロジェクト)・・・継続/7年目

期 日:通年

内 容:海外研修報告冊子の販売等を通じた環境活動実践者への情報提供。

結 果:2016年度に発行した海外研修の成果を発信するための冊子「変わるNPOが日本を変える！」の販売・管理を行った。助成金セミナーや、地域の会合等で紹介した結果、18冊の売り上げがあったが、目標としていた100冊を大きく下回った。予定していたネット上でのPRや委託販売なども実施することが出来ず、会員への販売協力も周知できなかったことがその要因であった。

また原稿執筆等の編集に関わっていない17期生以降の会員23名について、理事から最新の情報を盛り込んだ冊子の全面改訂版を発行してはどうかとの提案があり、次年度以降会として取り組んでいくことになった。

対 象:会員及び環境活動を実践する若手人材

②パートナーの森づくり活動への協力・・・新規

期 日:【新潟県】2017年8月18日(金)

【静岡県】2017年8月22日(火)

内 容:パートナーであるセブン-イレブン記念財団が全国ですすめる「セブンの森」づくり活動への協力。

結 果:「セブンの森づくり」担当者からの依頼に応じて、新潟県と静岡県において、それぞれ候補地の選定と管理者との調整等を行い、来訪した担当者に対して現地を案内した。

対応者:【新潟県】鳥羽和明・原淳一・高林麗果
(東海・北信越ブロックメンバー)

【静岡県】今永正文(同上)



■2017年度事業報告③

③地域団体の人材育成等支援(研修等開催依頼対応)・・・継続/4年目

期 間:通年

内 容:依頼に応じて、環境をテーマとしたセミナーへの講師等派遣や、環境学習や研修会等の各種プログラムの企画・運営を行い、地域の環境活動の活性化に寄与する。

結 果:一般財団法人セブーンイレブン記念財団主催「助成金セミナー」、地球環境基金主催「環境NPOスタッフ能力強化研修等」、横浜自然観察の森友の会主催「友の会30周年記念アンケート&ワークショップ」の3件の依頼に対して、講師又はアドバイザーを派遣した。また、地球環境基金主催「若手プロジェクトリーダー二期生フィールド実習開催業務」の1件を受託し、静岡県富士宮市で開催した。

個別の主な実施内容:

- * 一般財団法人セブーンイレブン記念財団主催「助成金セミナー講師派遣」
 - ◆9/2 「助成金セミナー」基調講演 参加者数104名
- * 地球環境基金「研修・講座アドバイザー派遣」業務
 - ◆6/14 「環境NPOスタッフ能力強化研修@愛知・名古屋」視察及び評価
 - ◆6/19-20 「環境NPOスタッフ能力強化研修@北海道・東川町」視察及び評価
 - ◆7/4-5 「若手プロジェクトリーダー研修@両国」視察及び評価
 - ◆8/9 「環境NPOスタッフ能力強化研修@岡山・岡山市」視察及び評価
 - ◆8/16 「環境NPOスタッフ能力強化研修@愛知・名古屋」視察及び評価
 - ◆9/3 海外派遣研修「事前国内研修@東京・西日暮里」視察及び評価
 - ◆10/25-26 「若手プロジェクトリーダー研修(2・3期生)」参加及び第三者評価
 - ◆10/28 環境NPOスタッフ能力強化研修@富山・富山市」視察及び評価
 - ◆1/11-12 「若手プロジェクトリーダー研修」参加及び第三者評価
 - ◆1/17 研修担当者「実務者会合@川崎」ファシリテーター派遣
- * 横浜自然観察の森友の会主催「友の会30周年記念アンケート&ワークショップ開催」
 - ◆7/20~9/21 会員に対するアンケート調査の実施とデータ入力、とりまとめ
 - ◆1/21 「横浜自然観察の森友の会30周年記念ワークショップ」開催
 - ◆1/31 実施報告書提出
- * 受託事業「若手プロジェクトリーダー研修フィールド実習」開催業務
 - ◆10/3-4 「若手プロジェクトリーダー研修」開催@静岡・富士宮市
 - ◆11/30 「若手PJリーダー研修2期生フィールド実習」業務完了報告書提出



■2017年度事業報告④

Ⅲ. 環境ネットワーク構築事業

① 会員からの提案活動サポート制度【継続／年1件】

内 容: 会員間のネットワークを強化し、会員自らの発案による自主的な活動を促進するため、会員から企画を募集し、今年度は阪野真人氏提案の「自然保育を自治体に政策にしよう」と小倉加代子氏提案の「これからの自然保護・生態系ワーク会について」の2件を採用し実施した。

【活動名】「自然保育を自治体の政策にしよう！」

【目的】総会時分科会の「地域づくり」グループが議論した「森の幼稚園の移住政策」に取り組む福井県若狭町で、自然保育と移住政策の可能性を考えることを目的に本事業を行った。

【日程】2017年11月21日(火)

【場所】上中町役場2階会議室（福井県三方上中郡若狭町1-1）

【協力】若狭町福祉課子ども・若者支援室、若狭町保育所長会

【参加者】67名<保育士63名、若狭町移住担当者2名、体験事業者1名、県議会議員1名>

【プログラム】①基調講演: 藤井徳子氏

ドイツの森の幼稚園の事例と、自身が関わっている富山県の公立幼稚園の取り組みを紹介。

②特別ゲスト: 松宮妙子氏(若狭町の自然保育の立ち上げ人の一人)20年程前に始めた自然保育について、始まりの経緯、周囲の反響、想いなどを話して頂く。

【参加者の感想】

- * 保育士: 藤井先生の自然保育で育った子供の追跡調査のデータが参考になった。また、松宮さんの活動当初の想いや当初の苦労話を聞けて、原点がわかった気がする。
- * 移住担当者: 改めて自然保育や森の幼稚園が今の時代に必要とされていることが分かった。2月には大阪で自然保育を売りにした移住イベントを開催するので、とても参考になった。
- * 県議会議員: 福井県でも森のようちえんの推進を議会で提案しており、知事の反応も悪くない。今後も若狭町の事例を参考に議論を進めていきたい。

【今後の展開と課題】

- ・縦割りになりがちな行政内部で部署を跨いだ議論をすることができた。今後は、自然保育の再検証や再評価、自然保育をどのように移住政策として組み込んでいくかを検討する必要がある。



■2017年度事業報告⑤

【活動名】

これからの自然保護・生態系ワーク会について

【目的】

- 1) 分科会メンバーである小倉加代子氏の宍道湖中海のフィールドと中海自然再生協議会を視察し、先進的な取り組み事例を知る。
- 2) 「中海・宍道湖の食を広めよう会」に参加し、地元漁師・農家等と交流することで、持続可能な社会を目指す活動について学ぶ。
- 3) 分科会の今後の活動展開を展望する。

【内容】

開催日：2018年2月22日(木)～24日(土)

場所：島根県松江市天神町114 認定NPO法人 自然再生センター

参加者：自然保護・生態系メンバー(3名)小倉加代子, 出口容子, 川野智美

【視察及び参加先】

1) 認定NPO自然再生センター及び活動フィールドの視察

世界的にも有数な汽水湖である中海をフィールドに自然再生事業等を手掛けるNPO法人 自然再生センター(以下センター)を視察した。センターでは、住民・企業・行政・専門家等が連携し、中海・宍道湖を含むこの流域の自然環境の再生と、かつての湖と人々の親しい関係を再構築するための活動が行われており、実際に中海で藻刈りを体験した。

2) 「中海・宍道湖の食を広めよう会」(以下広めよう会)への参加

続いて、中海・宍道湖と圏域の新鮮な「食」をテーマに隔月で開催されている「広めよう会」に参加した。この会合は隔月開催されており、地元食への関心を高めながら、地域コミュニティとの接点づくりの場であると共に、会員や寄付の獲得に機会となっていた。参加者は総勢30名で、島根県NPO活動推進室の職員や、島根県会議員、また県外からはNPO法人河北潟湖沼研究所が参加していた

【結果・まとめ】

センター及びフィールドの視察や「食を広めようの会」へ参加し、特にセンターが行政・企業・地域などとの協働や組織運営上で重視し実践されていることが印象に残った。以下に主な要点を3つにまとめる。

- ①正しいことだけで人は集まらない。楽しいことに人は集まり、交流が生まれ、信頼関係のもとに人は動く。
- ②根底には人と人との信頼関係、社会を動かすのは組織と組織との協働。
- ③協働には信頼が必要であり、法人としてガバナンスが必要。想いと共に法の人として組織運営が重要。

Jens-netの今年度の会議で分科会が作られたことが、今回の活動につながった。今後②③を見据え、Jens-netにおける自然保護・生態系保全のワークについて、今回参加できなかったパートナーも交えてミーティングを行うことで、次につながる計画を進めていきたい。



■2017年度事業報告⑥

②第1回日本環境NPOネットワーク会議&総会開催

【期 日】2017年5月26日(金) 13:30～5月28日(日) 12:00

【主 催】一般社団法人日本環境NPOネットワーク&一般財団法人セブン-イレブン記念財団

【目 的】ミッション&ビジョンを共有し、各分野ごとでのこれからの検討し交流することで、法人としての第1歩を踏み出す。

【目 標】①ミッション&ビジョンについて会員間で意見交換し、全体の方向性を共有する。

②テーマ別でのディスカッションを通じ、各分野で方向性を検討する。

③被災地の現状を知ると共に、森林を活用した環境学習やバイオマス、協働による森づくりなど、先進的な活動事例を学び、リーダーとしての資質を高める。

④意見交換や共同での生活体験などを通じ、会員間の交流と一体感を促進する。

【参 加】Jens-Net 会員28名、一般財団法人セブン-イレブン記念財団 職員2名

【運 営】Jens-Net理事、北海道・東北ブロックメンバー、事務局

【会 場】宮城県栗駒市、大崎市鳴子町 他

[1日目]視察／エコラの森・宮城セブンの森、宿泊／旅館「ぬまくら」

[2日目]視察／くりこまくんえん、視察&宿泊／くりこま高原自然学校

[3日目]会議／くりこま高原自然学校

【日 程】

1日目(5/26) 12:00 仙台空集合→バスで移動→仙台駅→車内でオリエンテーション

14:30 エコラの家着、荷物入れ

15:00 環境シンポジウム開催

18:30 交流会開催 → 20:30 移動、チェックイン

2日目(5/27)06:30 早朝プログラム

09:00 くりこまくんえん見学

11:00 くりこま高原自然学校着、施設見学

13:00 第1回Jens-Net会議 → 16:30 終了、休憩、夕食

18:30 会員交流会

3日目(5/28)07:00 起床 → 8:30 ネットワーク会議

11:00 第1回日本環境NPOネットワーク総会

12:00 終了→移動 14:30仙台駅解散

【結 果】ビジョン・ミッションの決定や分科会制のスタートなどJens-Netとしての基本的な方向性を検討・共有することができた。一般参加者を交えた環境シンポやくりこまくんえんの見学は有意義だったが、会期中に骨折事故が発生し、安全管理面で大いに反省された。



■2017年度事業報告⑦

【 管理運営 】

I. 理事会及びパートナーシップ会議の開催と運営

【理事会】・・・年3回開催

- * 第1回理事会及びパートナーシップ会議 2017年4月14日(金)
参加／菅原・桃井・角屋・宮嶋・今永(欠席／伊東・豊田)
主な議題／H27事業予定&予算、第1回会議詳細検討 等
- * 第2回理事会及びパートナーシップ会議 2017年10月5日(木)
参加／菅原・桃井・宮嶋・角屋・豊田・今永(欠席／伊東)
主な議題／第1回会議報告、次年度会議候補地選定 等
- * 第3回理事会及びパートナーシップ会議 2018年1月25日(木)
参加／伊東・菅原・桃井・宮嶋・豊田・今永(欠席／角屋)
主な議題／第2回会議内容、協定更新、3か年計画検討 等



【オンライン理事ミーティング】・・・年2回開催

- * テレビ電話サービス(skype)を利用したオンライン上での会議を、2回開催した。
5月18日(木)20:00～21:30 菅原、桃井、角屋、宮嶋、今永
主な議題／第1回Jens-Net会議内容&役割分担最終確認 等
- 11月6日(月)20:00～21:30 菅原、桃井、角屋、宮嶋、今永
主な議題／ サポート制度応募企画審査、ロゴマーク案の決定 等



【その他】・・・年2回開催

- * 監査対応等、運営に必要な打合せ等を実施した。
2017年5月19日(金) 鈴木眞智子監事による監査対応@川崎
2018年2月16日(金) 次期役員候補者との打合せ@西日暮里、東京

II. 図書の販売&管理

- * 「藁科川散策絵図」の販売&PRL、会計や販売状況の把握、在庫管理などを行った。
- * 「海外研修成果発信冊子」の販売&PRL、会計や販売状況の把握、在庫管理などを行った。

■2017年度事業報告⑥

③ホームページ&ML運営

* 内 容: Jens-Net公式ホームページやSNS(Facebookのページ&グループ)の情報更新及びメーリングリストの管理を行う。

Ⅲ. 事務・会計

- * ミッション&ビジョンのとりまとめ
- * ロゴマークのデザイン案募集とアイデア集約、デザイナーへの依頼・調整
- * サポート制度の募集と報告等のとりまとめ
- * 第2回ネット会議企画運営者との連絡調整
- * 理事会資料の作成と議事録の作成
- * スカイプによる理事ミーティングの日程及び議事の調整・準備
- * パートナシップ協定更新に向けた3か年報告及び計画作成
- * 会員の個人データ管理と更新・名簿の作成
- * 新入会員の入会案内送付と受付、連絡調整
- * 退会者への対応
- * 関連団体の記念式典への電報送付
- * 静岡市番町市民活動センター利用者会議等への参加と報告
- * 月毎の入居団体利用報告書・予定表の作成と提出
- * 静岡市市民団体登録名簿の更新
- * 新役員候補者との連絡調整
- * 月ごとの帳簿作成、年度末の会計処理(毎月)
- * 労務管理、源泉徴収の納入手続き
- * 厚生年金不適用事務所の書類手続き
- * 確定申告及び法人県民税・市民税の納入手続き
- * 助成申請書の作成と送付
- * パートナー及び関係者との連絡調整 など



一般社団法人
日本環境NPOネットワーク



年月	主な事業内容	その他
2017年3月	第1回Jens-Net会議&法人設立総会の開催通知と出欠とりまとめ 第1回静岡市番町市民活動センター入居団体会議参加(3/16)	HP・SNS更新 ML管理、利用報告作成、提出
4月	第1回「理事会&パートナーシップ会議」開催(4/14)	〃
5月	会議開催及び運営助成申請書提出(5/12) スカイプ理事ミーティング開催(5/13)、監査対応@川崎(5/19) 第1回Jens-Net会議&総会開催@宮城(5/26-28)	〃
6月	講師等派遣「地球環境基金研修・講座アドバイザー派遣」開始(～1/17)	〃
7月	講師等派遣「友の会会員に対するアンケート調査実施&とりまとめ」(～9/21)	〃
8月	「セブンの森づくり」現場視察対応(8/18新潟、8/22静岡)	〃
9月	講師等派遣「助成金セミナー」実施@市ヶ谷(9/2) 第2回静岡市番町市民活動センター入居団体会議参加(9/21)	〃
10月	受託事業「若手PJリーダー二期生フィールド実習」開催(10/3-4) 第2回「理事会&パートナーシップ会議」開催(10/5) 分科会登録依頼、サポート制度募集(～10/31)	〃 第20回海外研修開催
11月	スカイプ理事ミーティング「サポート制度審査&決定」(11/6) 第2回Jens-Net会議&総会開催に向けた近畿Bメンバー打合せ@京都(11/20) サポート制度事業「自然保育を自治体の政策に」開催@福井(11/21) 新入会員への入会案内の発送(11/22)、ロゴマーク投票と決定(～11/30)	〃
12月	新入会員登録手続き(～12/25)、分科会メーリングリスト作成	〃
2018年1月	講師等派遣「友の会設立30周年記念ワークショップ」開催(1/21) 第3回「理事会&パートナーシップ会議」開催(1/25) リーダー会議&総会開催場所決定・通知	〃
2月	確定申告提出、事業報告・会計報告まとめ、事業計画・収支計画作成 第2回Jens-Net会議&総会の会場下見@琵琶湖畔(2/22) サポート制度「これからの自然保護ワーク会」開催@島根(2/22-24) 平成30年度事業計画&予算(案)提出	〃

■平成29年度 決算(案)

収入合計	4,300,373円
支出合計	4,071,644円
差引金額	228,729円

単位/円

科目	当初予算額	決算額	増減	説明
I 収入の部				
会費	261,000	255,000	6,000	入会金1,000×6名、年会費75名×3,000円、賛助会費1口5,000円×10口
助成金	1,290,000	1,290,000	0	一般社団法人日本環境NPOネットワーク 運営助成
	1,450,000	1,450,000	0	第1回Jens-Net会議&総会開催助成
寄付金	0	0	0	
事業収入	405,000	381,000	24,000	
	150,000	72,000	78,000	藁科川散策絵図200冊×500円、海外成果発信冊子100冊×500円
	60,000	153,260	▲93,260	講師等派遣事業
受託事業	0	483,000	▲483,000	地球環境基金若手プロジェクトリーダー二期生フィールド実習
雑収入	250	184	66	利息(ゆうちょ銀行)等
予備費	215,929	215,929	0	前年度繰越金
収入合計	3,832,179	4,300,373	▲468,194	
II 支出				
事業費				
政策提言活動	50,000	50,000	0	サポート制度採択事業「自然保育を政策に」「これからの自然保護の会」
地域支援活動	306,000	657,002	▲351,002	受託事業「若手プロジェクトリーダー二期生フィールド実習」、図書販売管理費
環境ネットワーク構築活動	1,999,000	1,969,658	29,342	第1回日本環境NPOネットワーク会議開催、HP&MLの管理運営
管理運営費				
理事会開催費	360,000	355,540	4,460	理事及び事務局交通費
事務会計	901,250	1,039,444	▲138,194	委託費、携帯電話使用料、消耗品費、通信運搬費、租税公課 等
当期支出合計	3,616,250	4,071,644	▲455,394	

差引残額 228,729円は次期に繰越す

■平成29年度 実施体制(敬称略)

区分	理事
理事長	伊東俊和(長野／霧多布湿原ナショナルトラスト)
北海道・東北ブロック理事	菅原正徳(宮城／カワラバン)
関東ブロック理事	桃井貴子(神奈川／気候ネットワーク)
東海・北信越ブロック理事	角屋暢洋(新潟／魚沼寺子屋実行委員会)
近畿・中四国ブロック理事	宮嶋啓太(大阪／ナック)
九州・沖縄ブロック理事	豊田菜々子(長崎／環境保全教育研究所)

監事 鈴木眞智子
(神奈川／とどろき水辺の楽校)

事務局 今永正文
(静岡／プロセスコンサルタントWARAKU)

会員 73名
(2018.2.28現在)

正会員 71名

オブザーバー会員 2名

ブロック別会員内訳

北海道・東北ブロック	8名	近畿・中四国ブロック	15名	合計
関東ブロック	14名	九州・沖縄ブロック	18名	73名
東海・北信越ブロック	16名	※オブザーバー会員	2名	

北海道・東北ブロック(8名)

第7回	菅原正徳	かんきょう カワラバン／宮城
第9回	佐藤文晴	パートナーシップオフィス／山形
第10回	草野竹史	ezorock／北海道
第11回	菊池格夫	国際協力機構 (JICA) ／秋田
第13回	荒井一洋	大雪山自然学校／北海道
第15回	池田 誠	大沼マイルストーン／北海道
第18回	佐々木豊志	くりこま高原自然学校／宮城
第19回	小城夢奈	やまがたヤマネ研究会／山形

東海・北信越ブロック(16名)

第1回	伊東俊和	霧多布湿原トラスト／長野
第5回	馬塚文司	サンクチュアリジャパン／静岡
第9回	樋口克孝	ギフチョウの会／岐阜
第10回	今永正文	プロセコンサルタントWARAKU／静岡
第12回	原淳一	アキハロハス／新潟
第12回	山田勇	わおん／長野
第13回	鳥羽和明	エコライフを楽しむ会／新潟
第14回	本間莉恵	みらいずWorks／新潟
第14回	角屋暢洋	魚沼寺小屋実行委員会／新潟
第15回	萩野由紀	まるやま組／石川
第15回	唐澤晋平	日本の森バイオマスネットワーク／愛知
第16回	大室由佳	アキハロハス／新潟
第17回	高林麗果	アキハロハス／新潟
第17回	藤井徳子	富山福祉短期大学／富山
第18回	佐治真紀	ひとまち・これから／愛知
第18回	藤井朋子	アキハロハス／新潟

関東ブロック(14+2名)

第3回	舟津宏昭	富士山アウトドアミュージアム／山梨
第3回	北島直幸	国立青少年教育振興機構／東京
第4回	木村尚	海辺つくり研究会／神奈川
第4回	鈴木真智子	とどろき水辺の楽校／東京
第9回	桃井貴子	気候ネットワーク／東京
第10回	三枝信子	川崎フューチャーネット／神奈川
第13回	田中博子	シーズ／埼玉
第13回	橋爪慶介	DEXTE-K／東京
第14回	田村裕美	ソーシャルテクニカ／東京
第17回	南結香子	サダナフォレスト／東京
第17回	加藤大吾	都留環境フォーラム／山梨
第17回	豊田直之	海の森・山の森事務局／神奈川
第19回	片山清宏	湘南ビジョン研究所/神奈川
第20回	村田千尋	NPO法人みどり環境ネットワーク！／東京
※	三浦正宏	宇都宮市役所／栃木
※	宮里知江	セブン銀行／東京

近畿・中四国ブロック(15名)

第1回	新田章伸	里山倶楽部／大阪
第3回	吉田浩巳	大和まほろばNPOセンター／奈良
第9回	口井隆司	紀州えこなびと／和歌山
第9回	平山奈央子	滋賀県立大学／滋賀
第10回	仲津英治	エコネット近畿／滋賀
第13回	牧野美奈	雨水学舎／愛媛
第15回	宮嶋啓太	ナック／大阪
第15回	松田直子	Hibana／京都
第16回	林健児郎	広島YMCA野外教育センター／広島
第16回	菊間彰	をかしや／愛媛
第18回	小倉加代子	自然再生センター／島根
第19回	片山翠	こども環境活動支援協会／兵庫
第19回	白川勝信	西中国山地自然史研究会／広島
第19回	阪野真人	若狭町地域おこし協力隊／福井
第20回	梅谷真慈	英田上山棚田団／岡山

九州・沖縄ブロック(18名)

第1回	西健太郎	筑前新宮に白砂青松を取り戻す会／福岡	第16回	藤浦清香	森の学校補学園／鹿児島
第10回	矢野博巳	とりかぶと自然学校／長崎	第16回	佐藤真理子	フリーランス／福岡
第12回	宮原美智子	地球温暖化防止全国ネット／熊本	第18回	泉 香苗	九州工科大学キャリアセンター／福岡
第14回	梅田幸代	ナチュラル・タッチ／鹿児島	第18回	花城篤史	おきなわグリーンネットワーク／沖縄
第14回	川野智美	九重ふるさと自然学校／大分	第19回	出口容子	かいろう基山／福岡
第15回	園田敬子	環境ネットワークくまもと／熊本	第20回	池田龍介	誇れるふるさとネットワーク／鹿児島
第15回	立山芳輝	チェスト！／鹿児島	第20回	大神弘太郎	ふくおかFUN／福岡
第16回	豊田菜々子	環境保全教育研究所／長崎	第20回	廣岡 睦	Climate Youth Japan／福岡
第16回	桑野恭子	地域環境ネットワーク／大分	第20回	福園恵子	諫早市こどもの城／長崎 6